



シンポジウム「学びの深層へ」



平成26年12月13日(土)

午前の部 9:30～11:15 総合博物館 講演室

【講演】

SWIM - 「探究」は遠泳法か -

荒瀬 克己 (あらせかつみ)

大谷大学文学部教授 (元京都市立堀川高等学校校長)

■プロフィール

京都市立堀川高等学校校長、京都市教育委員会教育企画を経て、2014年から現職。専門は、言語技術、国語教育。関西国際大学客員教授、福井大学大学院客員教授、京都大学大学院非常勤講師、独立行政法人国立高等専門学校機構監事、京都市教育委員会指導部顧問。中央教育審議会初等中等教育分科会、教育課程部会等の委員。著書に『奇跡と呼ばれた学校』(朝日新書 2007年1月)、『子どもが自立する学校』(共著、青灯社 2011年1月)等。2007年、NHK番組「プロフェッショナル仕事の流儀」に出演。



午後の部 13:00～15:30 総合博物館 ミューズ・ラボ

【講演】

生涯学習時代における探究学習の創造 - 地球惑星科学からのアプローチ -

川上 紳一 (かわかみしんいち)

岐阜大学教育学部教授

■プロフィール

名古屋大学で学位を取った後、岐阜大学教育学部へ、現在教授。『縞々学 - リズムから地球史に迫る』(東京大学出版会、1995年)などの著書多数。惑星の形成過程、地球や宇宙の歴史に見られるリズムを読み取る研究(縞々学=しましまがく)、プレカンブリア代終りの大氷河期など、惑星と生命の歴史全般にわたる研究を行っている。その一方で、「理科少年」の心を失わず、昆虫、地衣類などについても熱心に調べている。講習などを通じて、岐阜県の学校の理科の先生のネットワークをつくり、理科好きの子ども達の育成に努めている。



【座談会】

川上紳一 × 岡山県立倉敷天城中学校・高等学校

【連動企画1】 11:30～12:50 総合博物館ロビー

「出張 瀬戸内海を環境を考える
高校生フォーラム at 京都大学総合博物館」

平成26年度瀬戸内海を環境を考える高校生フォーラム
(兵庫県立尼崎小田高等学校、大阪市立東高等学校、
兵庫県立六甲アイランド高等学校、
兵庫県立神戸商業高等学校、山陽女子中学校・高等学校、
安田女子中学・高等学校、広島県立広島国泰寺高等学校) (順不同)

参加：無料、予約不要。ただし博物館への入館料は必要です。
一般 400円 / 大学生・高校生 300円 / 中学生・小学生 200円
※70歳以上の方、身体障がい者手帳をお持ちの方は無料です。

問い合わせ：〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学総合博物館
TEL 075-753-3272 WEB サイト <http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/>

交通機関

■市バス ・ JR/近鉄京都駅から17,206系統、阪急河原町駅から3,17,31,201系統 ・ 地下鉄烏丸線今出川駅から201,203系統 ・ 地下鉄東西線東山駅から31,201,206系統、百万遍(ひやくまんべん)停留所下車徒歩約2分

■京阪電鉄 京阪本線「出町柳(でまちやなぎ)」駅で下車、今出川通りを東進百万遍(ひやくまんべん)交差点を南に折れてすぐ(出町柳駅から徒歩15分)

*駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください

【連動企画2】 15:30～16:30 総合博物館 特別展会場

岡山県立倉敷天城中学校・高校生徒による展示発表

※展示担当者によるギャラリー・ツアー含む



MUSEUM
THE KYOTO UNIVERSITY MUSEUM

Supported by 日本 THE NIPPON FOUNDATION
船の科学館・海と船の博物館ネットワーク

特別講演会 平成26年12月14日(日)

【講演】13:00～16:00 総合博物館 講演室

「仮説実験授業」の〈仮説〉よりも、
それ以前の〈仮説〉の話をしたい。
——伝説の教育学者が京大にやってくる！

板倉聖宣、「仮説」を語る

+ 大野照文 (総合博物館館長) との対談

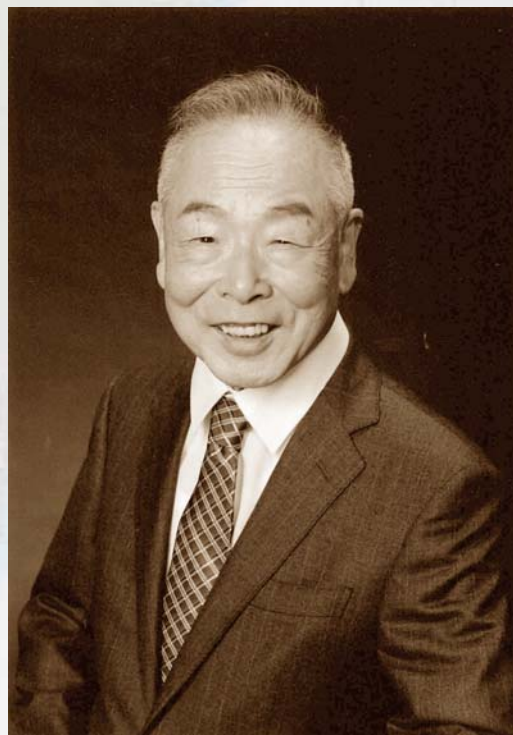
■板倉聖宣プロフィール

仮説実験授業研究会代表・楽しい授業編集代表・科学史学会会長
1930年東京の下町生まれ。東京大学で科学の歴史を研究して、1958年理学博士の学位を得て国立教育研究所に勤める。1963年〈仮説実験授業〉を提唱。1983年『たのしい授業』を創刊。評価論・教育史発想法など広い分野の研究を推進して、社会の科学の研究・教育にも従事している。『歴史の見方考え方』『日本史再発見』『教育評価論』その他多数の専門書のほか、『もしも原子が見えたなら』『僕らはガリレオ』『ジャガイモの花と実』『調べてみよう私たちの食べ物・全10巻』など、子ども向けの本も多数手がけている。

【関連企画】10:00～12:00 特別展会場

児童・生徒による展示発表

- ・京都市立第四錦林小学校(10:00～11:00)
- ・京都府立福知山高等学校(11:00～12:00)



講演 & 座談会 平成26年12月20日(土)

【講演】13:00～14:30 総合博物館 ミューズラボ

ジュゴンの上手なつかまえ方

市川光太郎 京都大学フィールド科学教育研究センター特定研究員

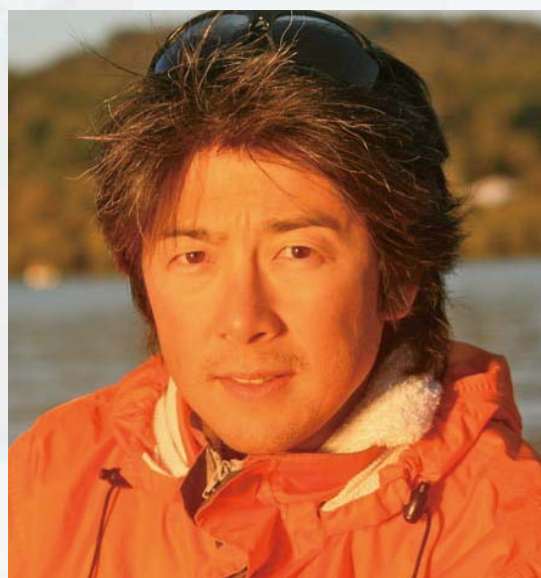
■プロフィール

2007年、情報学博士取得。ジュゴンの鳴き声を用いた行動生態研究が専門。主に、タイ国・タリボン島、オーストラリア・モートン湾で調査。ジュゴンが「いつ、どこで、何を」しているのかを解明して、現地住民の負担の少ないジュゴン保護を目指す。今年『ジュゴンの上手なつかまえ方—海の歌姫を追いかけて』を岩波科学ライブラリーより、『アラブのなりわい生態系 7—ジュゴン』(編著)を出版。

【座談会】15:00～16:30 総合博物館 ミューズラボ・特別展会場

市川光太郎 × 京都府立海洋高等学校

※京都府立海洋高等学校生徒による展示発表+展示担当者によるギャラリー・ツアーも行います



関連企画 平成26年12月27日(土)

10:30-11:00 企画展示室

松川町立松川東小学校児童による展示発表

